



2020年4月24日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

大釜駅融雪装置の稼働実績について

東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社では、田沢湖線大釜駅に融雪装置を設置し、2019年12月15日（日）から稼働を開始しました。これはこれまで東北新幹線の安全安定輸送を目的に盛岡駅で行っていた秋田新幹線の人力による雪落とし作業を、大釜駅での機械による融雪に切り替えたものです。

このたび、3月31日（火）でこの冬の稼働が終了しましたので、稼働実績についてお知らせします。

1. 期間中の稼働実績について

期間	2019年度			2018年度
	列車本数 (上りのみ)	融雪実施 件数	人力雪落とし 件数	人力雪落とし 件数
12月	285本	3本	0本	6本
1月	566本	36本	1本	21本
2月	483本	58本	1本	14本
3月	519本	0本	0本	1本
期間合計	1853本	97本	2本	42本

大釜駅融雪装置稼働実績

期間：2019年12月15日（日）～2020年3月31日（火）

※2018年度の件数は、2018年12月15日（土）～2019年3月31日（日）の実績

年度	降雪量合計 (cm)
2018年度	394.0
2019年度	156.0

【参考】秋田新幹線沿線の降雪量（角館）

※直近2年、12/15～3/31の降雪量

※出典：気象庁ホームページ

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

融雪実施前（大釜駅）



融雪実施後（盛岡駅）



【融雪装置稼働イメージ】

約60°Cの温水噴射を3分間行い、車両に付着した雪を落とします。

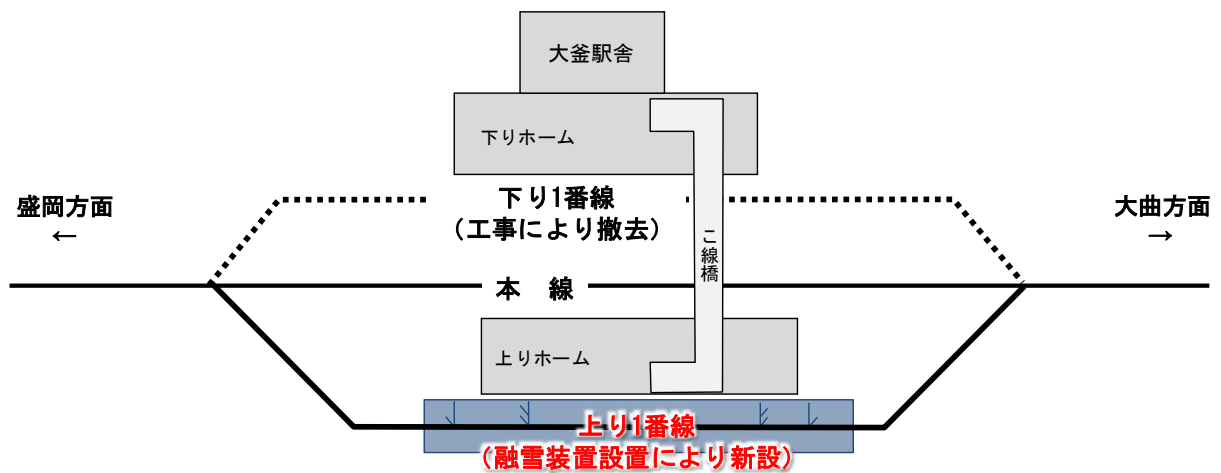
2. 稼働初年度の運用を終えて

2019年度は記録的な暖冬ではありましたが、今回設置した装置により十分な融雪効果が確認できました。今年度以降も、引き続き各種データの収集を行い、設備の安定稼働と東北新幹線の安全安定輸送に取り組んでまいります。

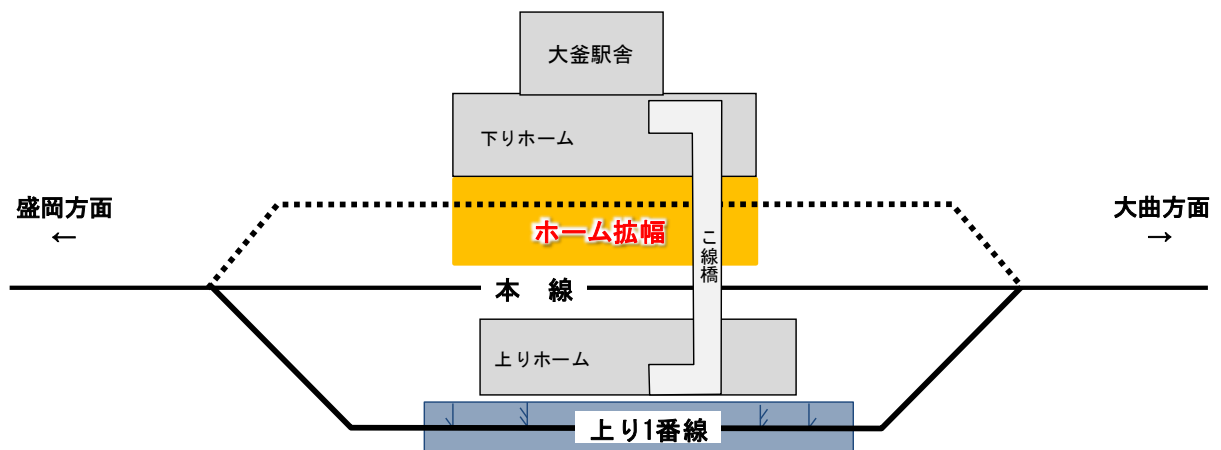
【参考】

田沢湖線大釜駅では、駅構内に融雪装置を設置することに伴い、使用する線路を下り1番線から新設する上り1番線に切り換える工事を行い、お客さまには2019年10月25日（金）から跨線橋を渡っていただき列車をご利用いただいております。

このたび駅ホームの拡幅工事により、2020年4月25日（土）の始発列車から全ての列車が跨線橋を渡らずにご利用いただけるようになります。



【現 行】



【4月25日以降】